

川平地区 社協だより

第90号

令和6年3月1日発行

川平地区社会福祉協議会

発行責任者 会長 菅沼 勇

編集 地区社協広報部

《会長挨拶》

～令和5年度を振り返って～

会長 菅沼 勇

過去1年の主な活動を振り返ります。2023年2月に行った社協アンケートとその結果の分析により、川平地域の実態を再認識しました。日本全体が人口減少と高齢化に直面しており、世帯構成人員が少なく、一人世帯や高齢者の二人世帯が増加しています。元気で活動的な人が減少しており、これが地域活動への参加を難しくしています。これが孤立した世帯の増加につながっており、アンケート結果では生活支援の要望が特に目立ちます。今後は住み続けつつも孤立しないような地域づくりが必要です。

このため、地域の包括支援センターや医療機関、介護事業施設と連携し、「つながる活動」を通じて住民の支援に応じられる関係づくりを強化しています。アンケート結果をもとに生活支援の相談がしやすいように、川平地域版のハンドブックを制作し、配布しています。

さらに、近隣の大学や明成高校と協力し、生活支援ができる組織づくりの行政手続きを進めています。最近ではデジタル社会への移行が進んでおり、その流れに合わせて川平地域社協のホームページを立ち上げました。伝統的な紙ベースの広報活動に加え、QRコードを活用してデジタル情報の提供も進めています。

最近の世の中では、新しい技術がどんどん進歩しています。その一環として、インターネットやスマートフォンなどの電子機器を使った「デジタル社会」と呼ばれるものがあります。高齢者にとっても生活をもっと楽しく、便利にする手段の一つです。

このデジタル社会を上手に活用できるようにサポートすることも大切に考えて、地域の皆さんとコミュニケーションを深めるためにQRコードで川平地区社会福祉協議会へのホームページに案内しています。



川平地区社協ホームページ

《各種報告》

＜福祉活動研修会＞

今回は仙台市社協の一戸さんをお招きしての研修でありました。改めて仙台市社協と我々地区社協との立ち位置や関係を整理したうえで、地域の受益者の方々にどのようなステークホルダーと共に活動を展開していくことが望ましいのか、他地域の例も交えつつお話を頂きました。その一方青葉区社協管轄22地区の内、高齢化率が3番目に高い地区である川平地区社協としては今後各町内会や民児協等これまでも連携してきた方々と、更なる戦略的連携が必要であることも現れた研修ではないかと思います。引き続き関係各種団体やボランティアの方々と共に、急速に進む高齢化の中で安全で安心して生活できる川平地区を目指して、我々川平地区社協としても邁進して参ります。



(川平地区社会福祉協議会 副会長 郷古 正太郎・記)

～令和5年度 社協会費御礼報告～

川平地区社会福祉協議会
会長 菅沼 勇
(公印省略)

本年度もご協力いただきありがとうございました。

※社会福祉協議会（社協）とは？

地域福祉の推進を図ることを目的とした社会福祉法人です。仙台市社会福祉協議会は、『一人ひとりの市民が、その人らしく地域で安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくり』を基本理念とし、地区社会福祉協議会や町内会、福祉団体・施設、ボランティアの協力をいただきながら、行政機関等と連携してさまざまな福祉事業を進めています。〈仙台市社会福祉協議会会員加入のお願いのチラシより抜粋〉

区域名	特別賛助会費		普通会費		会費合計額	地区担当理事
	人数	金額	人数	金額		
川平団地町内会	0	0	834	219,850	219,850	谷岡 洋志
西勝山町内会	1	1,000	669	210,100	211,100	山本 卓子
中山北部町内会	1	1,000	507	152,300	153,300	臼倉 孝之
杉崎町内会	0	0	247	74,500	74,500	岩本 妙子
川平わかば町内会	4	4,000	137	44,900	48,900	佐藤 博美
合 計	6	6,000	2,394	701,650	707,650	

～令和5年度 日赤活動資金（会費）御礼報告～

川平赤十字奉仕団
団長 菅沼 勇
川平地区社会福祉協議会
会長 菅沼 勇
(公印省略)

赤十字活動資金（会費）募金活動に、ご協力いただきありがとうございました。

「赤十字の活動は、国や地方自治体からの補助金はなく、赤十字の人道的な活動に賛同していただいた皆様からお寄せいただく活動資金（会費）により成り立っています。」

皆様の善意が赤十字事業に多くの支援となることを願い、集計結果のご報告とさせていただきます。

区域名	人数	会費合計額	奉仕員氏名
川平団地町内会	843	303,350	谷岡 洋志
川平わかば町内会	177	64,530	佐藤 博美
西勝山町内会	643	303,040	山本 卓子
杉崎町内会	243	120,200	岩本 妙子
中山北部町内会	503	251,300	臼倉 孝之
5区域	2,409	1,042,420	

～令和5年度 共同募金（赤い羽根）納入御礼報告

川平地区社会福祉協議会

川平地区共同募金会

会長 菅沼 勇

（公印省略）

本年度も募金活動にご協力いただきありがとうございました。

区域名	人数	募金合計額	担当理事
川平団地町内会	781	166,860	谷岡 洋志
西勝山町内会	664	296,250	山本 卓子
中山北部町内会	507	127,900	臼倉 孝之
杉峙町内会	233	72,500	岩本 妙子
川平わかば町内会	164	45,910	佐藤 博美
合 計	2,349	709,420	

（問い合わせ先：経理部 阿部 幸子）

《活動報告》「いきいきサロン活動」●サロンの掲載は助成金基準に適合して開催したものです。

～コロナ禍に負けないで頑張りました。～



令和5年度もコロナ禍の完全収束にはならなかったものの、感染予防に努め5回のサロンを実施しました。出前講座は「119番通報の現状」と「悪質商法にご用心」の2回実施しましたが、参加者が多く関心の高さを感じました。また「歌とゲームとおしゃべり」で大いに笑い、ゲームに夢中になって楽しみました。「ペットボトルキャップで作るマグネット」では、かわいい小物作りに挑戦しました。最後のサロンは「玄関の正月飾り」です。令和6年が健康でおだやかな年になりますようにとの願いを込めて、33名の参加者が思い思いに工夫を凝らして作りあげました。どのご家庭にも福が舞い込むようにと願っております。

（中山北部福祉の会会長 加藤和子・記）

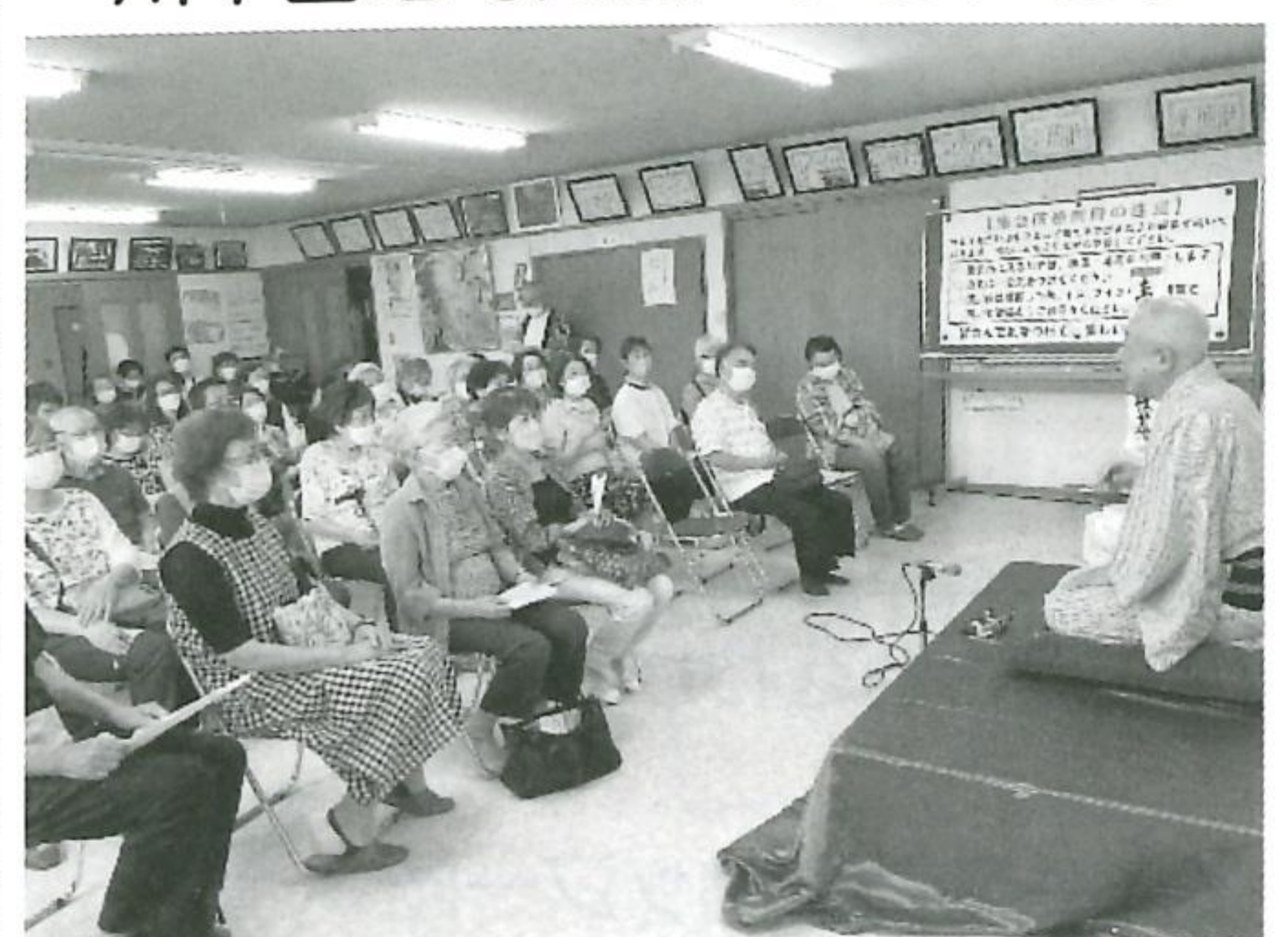
～杉峙町内会（いきいきサロン）の活動状況について～



杉峙町内会の「いきいきサロン」活動は、コロナ禍により過去3年間は年一回の開催に留めておりました。5類移行に伴い本年度からは、年5回の通常開催することとし、既に次の通り二回開催しております。1. 6月19日「フレイル予防について」25名参加 講師：国見ヶ丘地域包括支援センター 阿部所長様・千葉様 2. 8月28日「特殊詐欺（振り込め詐欺等）の手口と対応策」26名参加 講師：仙台市防犯協会連合会 事務局次長 本田勉様 今後は、10月に「移動研修会」・12月に「クリスマス会」・2月に「ひな祭り会」の開催を予定しております。これまでは、お弁当を持帰りとしていましたが、今後はコロナ感染の状況を見ながら対応したいと考えております。

（杉峙町内会 福祉部長 岩本 妙子・記）

～川平団地町内会 いきいきサロン第1回開催 満員御礼！！～



第1回いきいきサロンが6月7日に開催されました。毎年恒例、青葉亭軽茶さん（落語）2526さん（漫才）をお招きし、公演していただきました。集会所には総勢71人が参加いただき、会場は満員となりました。皆さん、おおいに笑い、賑やかな時間を過ごしていただきました。「楽しかった～」「また来年もお願いね！」とご好評頂きました！第2回いきいきサロン：8月7日 遊び体験「ボッチャ」「eスポーツ」第3回いきいきサロン10月26日 「アフターコロナ新しい時代に向けて！」 桜ヶ丘クリニック福島先生の講演

「川平団地町内会 福祉部長 近藤 淳・記」

～初開催！！「ふれあい広場♪」～



西勝山町内会ではく仲良く・楽しく・元気よくをモットーに安心、安全で住み良い町内会を目指しております。本年度は「ふれあい広場～クリスマス会」と題し、いつものサロン活動に育成会のご協力も頂き、お年寄りと子供の交流を深める会ができないかと何度も話し合い、クリスマス会という形で開催してみました。ニュースポーツのような今どきの競技とじゃんけん列車や花いちもんめのような昔の遊びを教えあったり、お菓子を食べながらみんなで楽しくお話したり、民生委員や町内会役員にも協力してもらったのでそれぞれから出し物を見せてもらうのも好評でした。サンタやトナカイに扮した町内会役員からプレゼントを貰いましたが、更に最初に撮った集合写真をクリスマス会を開いてる間に印刷して、帰りのお見送りの時に子供たちが作ってくれたフレームに入れて子供たちから参加者にお渡しする粋なサプライズをしたところ、今日の思い出にすぐに持ち帰れることにとても喜んでもらえて素敵なクリスマス会になったと思います。来年度も色々な企画を考えていきたいと思っています。

(西勝山町内会 福祉部長 山本 卓子・記)

～12月開催の子育てサロン「かわだいラッコ」～

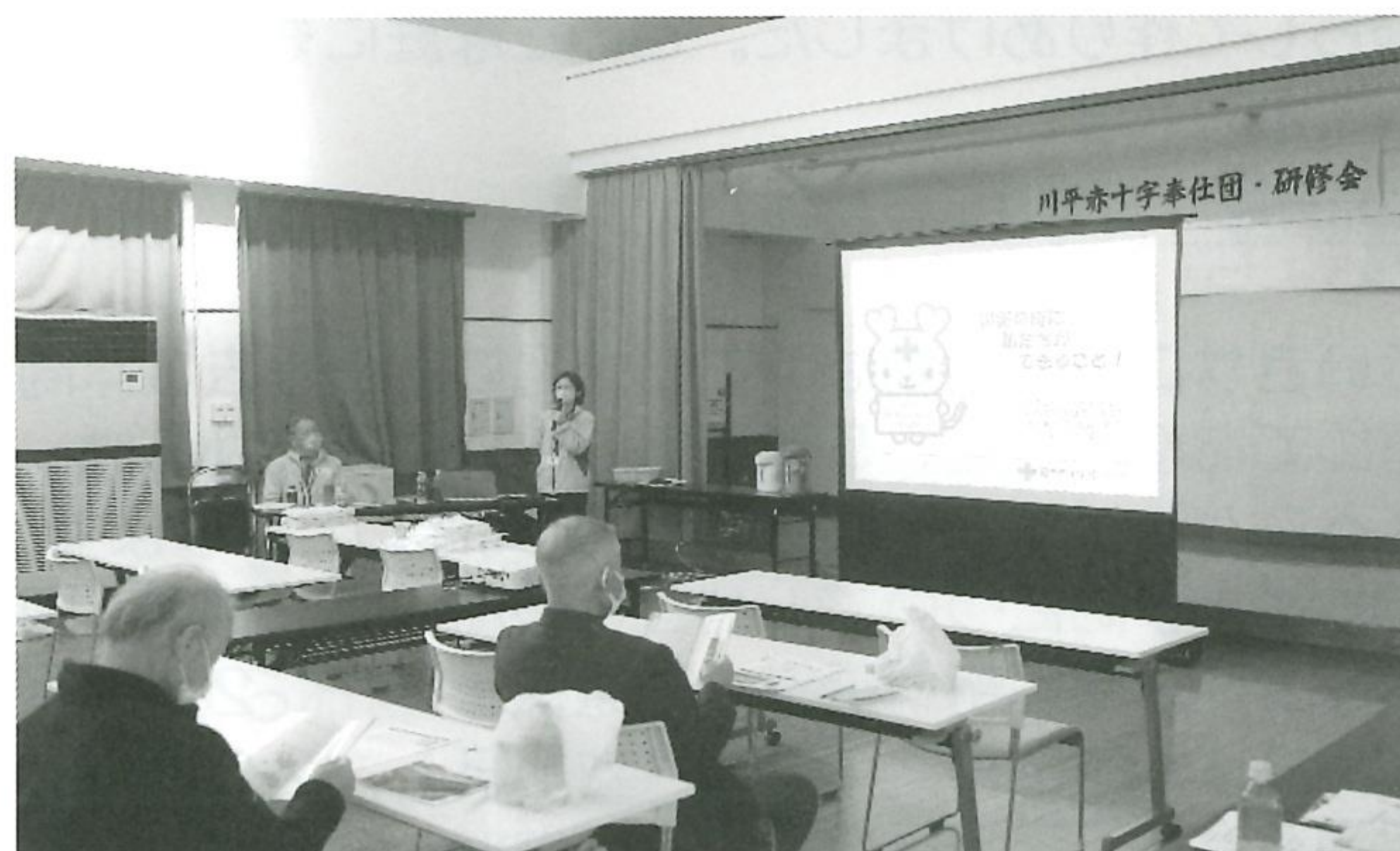


今年4回目の「かわだいラッコ」はクリスマス直前ということで、スタッフみんなでサンタやトナカイの衣装でお迎えし、12月末の寒いなかでしたが4組の親子が元気に参加してくれました。

暖かい室内でテーブルいっぱいの大きな紙に自由にお絵かきしたり、ボランティアさん手作りの指人形などでゆっくり・ゆったり遊びました。少しづつお母さん同士の会話も増え成長を喜びあったり、悩みを分かち合ったりする姿もみえいい関係が築けているようです。私たちスタッフも陰ながら支えていけたらとおもっています。

(川平地区社会福祉協議会福祉部 副部長 五十嵐 靖子・記)

～川平赤十字奉仕団研修会～



11月19日川平コミュニティセンター 大ホールに於いて日赤研修会が開催されました。
 講話 「赤十字のしくみと奉仕団活動」 講師：事業推進課ボランティア係長 千葉 潔 様
 健康生活支援講習 「災害時の支援」 講師：事業推進課講習・地域事業推進係長 佐藤 麻子 様
 赤十字の仕組み及び成り立ちはDVDを活用しながら大変わかりやすい説明でした。
 また実演ではホットタオルの作り方を教えていただき皆さん、とても感心した様子でした。

(川平地区社会福祉協議会 広報部・記)

編集
後記

今年度最終発行号となります。来年度も、より読みやすく、社協活動をわかりやすくお伝えできる紙面となるよう努めてまいります。
 新型コロナも5類に移行してもうまもなくで1年になりますね。《編集スタッフ一同》

